

## 【灯】 「ライブの醍醐味（だいごみ）」

<2022/12/22 大分合同新聞掲載>

この夏、3年ぶりに開催された「鶴崎踊」を見に行きました。踊り手の皆さんの優雅な動きと華やかな衣装に魅了され、改めて伝統の力というものを感しました。

次は姫島村の「キツネ踊り」も見てみたいと思っていたところ、東アジア文化都市2022大分県の関連企画「日韓子ども民俗芸能祭」の演目の一つだと知り、会場に足を運びました。島外で披露されるのは30年ぶりとのこと。子どもたちによる踊りは軽やかで、何となくひょうきんでもあり、とても楽しかったです。

2番目に登場したのは由布高校郷土芸能部の皆さん。庄内神楽「戸開」は圧巻の一言でした。舞も見事なら雅楽も見事、とても高校生が演じているとは思えない迫力で、終盤の太鼓連打には心が躍りました。

民俗芸能祭の最後を飾ったのは、韓国・慶州市のリトルイエイン舞踊団。最終演目の千手観音をモチーフにした踊りは、「C h o o C h o o T R A I N」のような楽しいダンスの趣もあった一方、仏教を通じた東アジア各国のつながりが想起される内容で、文化交流のありがたみと、それを将来につなぐことの大切さを学んだ気がします。

舞踊、音楽、演劇など、コロナのために不自由を強いられてきたアーティストの皆さんが、ようやく日頃の成果を披露できる素地が整ってきました。ライブならではの魅力を体感できる日々が今後も続くことを願っております。（日本銀行大分支店長）